



コロナ禍1年半、これから……

新型コロナウイルスが発生し、早1年半が過ぎました。コロナ感染禍の中で、総会やサロン等の開催が見送られるなど、会員同士の交流の場が持てない状況が続いています。これを機に、ホームページの活用やリモート対話などをおして、積極的に情報交換をしていきましょう。

コロナ禍、今こそ支え合い  
平和の『絆』を強めよう！

2021年度も ユネスコ精神を踏まえ活動推進

組 織 部 会

- 会員の拡大と財政確立への寄与
- 会員の維持
- 青年部の育成  
平和活動の継承の為に、青年部の育成強化を担当部会と連携して行う

青少年育成部会

- 青少年対象語学講座（広島市青少年センターと共催）
  - (1) 「英語でガイド in ひろしま」  
(前事業名 高校生英語でガイド)
    - ① 日時：7月31日(土)10:00~12:00、13:00~15:00  
8月1日(日)10:00~12:00、13:00~15:00
    - ② 内容：平和公園を案内するための学習とガイド
    - ③ 対象：15歳~30歳
    - ④ 参加費：1000円
    - ⑤ 定員：15人
    - ⑥ 講師：ひろしま通訳・ガイド協会 柏博子さん
  - (2) 「英語でニュースを読もう!!」  
(前事業名 時事英語講座)
    - ① 日時：8月8日(日)13:30~15:30  
8月15日(日)13:30~15:30  
8月22日(日)13:30~16:30
    - ② 内容：リーダー育成プログラム
    - ③ 対象：15歳~30歳（英検準2級程度）
    - ④ 参加費：1000円
    - ⑤ 定員：15人
    - ⑥ 講師：ひろしま通訳・ガイド協会 豊田泰子さん  
※上記(1)(2)の講座実施にあたっては、コロナの感染状況次第で変更や中止となる場合があります
- 「高校生国際理解セミナー」  
(教育部会と連携、広島市青少年センターとの共催)
  - ① 日時：12月19日(日) 9:30~12:30
  - ② 場所：広島市青少年センター

広島ユネスコ協会は、コロナ感染防止の観点から集会を避け、2021総会(事業承認等)を书面議決により行いました。

その主な事業計画と人事を紹介します。

- 高校生コーアクション  
(世界寺子屋運動街頭募金運動)  
(教育部会と連携)
  - ① 日時：12月19日(日)  
13:30~15:00
  - ② 場所：八丁堀天満屋ビル前  
※「高校生国際理解セミナー」が実施可能である状況でも実施の可否は検討課題
- 高校生&青少年ネットワーク  
広島市青少年センターと青少年育成部会との共催事業参加者のうち、希望者のみのメーリングリストを作成し、広島市青少年センターと青少年育成部会(広島ユネスコ協会)の共有として、必要に応じて主催事業等を案内し、青年会員の確保、高校生のユネスコ理解と活動への積極的な参加を促す

教 育 部 会

- 第24回広島ユネスコ活動奨励賞事業(7月~翌年1月末)
- ユネスコスクール・ESDの実施校や広島県ユネスコESD大賞等の情報の共有化
- 2021年度高校生国際理解セミナー事業  
(広島市青少年センター共催、青少年育成部会への協力)
- 世界寺子屋運動  
高校生によるコーアクション(青少年育成部会への協力)
- 書き損じハガキ回収キャンペーン(通年)
- 関係機関・学校・団体との連携

第21回  
「みんなが平和の鐘を鳴らそう」

とき… 8月15日(日) 10:00~11:00  
会場… 広島平和記念公園  
「平和の鐘」鐘楼前  
(広島市中区中島町)

〔開催に当たっては、コロナ感染防止対策のため、マスクの着用をお願いします。順番に一人ずつ、平和の鐘を打ち鳴らしましょう。〕

文化 部 会

- 「ユネスコサロン」年3回を予定
  - 第179回ユネスコサロン
    - 日時：当初6月予定（コロナ感染防止で延期）
    - 演題：「私の被爆体験と平和への思い」
    - 講師：堀江 壮さん（被爆体験かたりべ）
    - 会場：広島市国際青年会館 7F 研修室B・C
  - 第180回ユネスコサロン
    - 日時：9月（延期へ）
    - 演題：「『輝いて生きていきたい』ほんの小さな勇気と行動」
    - 講師：赤穴寿子（広島車イスダンスくらぶ代表）
  - 第181回ユネスコサロン
    - 日時：2022年2月（延期へ）
    - 演題：未定
    - 講師：畑口 實（広島ユネスコ協会副会長）
- 新春コンサート
  - 2022年1月末開催予定の新春フェスタにおいて開催
  - 出演団体：交渉中

国 際 部 会

- フラワーフェスティバル関係（★今年は開催中止）
- 韓国ユネスコ大邱協会友好親善訪問団との交流
  - (1) 日時：10月～11月
  - (2) 行程（案）
    - 1日目歓迎会。2～3日目：メリイハウス八千代、帝釈峡、神楽門前湯治村（神楽鑑賞）、三次もののけミュージアム、奥田玄宗・小由女美術館、宮島。4日目：平和公園
- ぺあせろべ参画
  - ぺあせろべ実行委員会が主催。広島に住むさまざまな国籍の人たちが一緒になって楽しめる場をつくることを目的としている。広島ユネスコ協会が1ブースを担当する
  - (1) 日程、会場：未定
  - (2) 活動内容：出店ブースで、ものづくり講座（小物づくり、凧づくり、シャボン玉あそび、風船、竹細工など）
- 国際フェスタ（★11月21日 広島ユ協参加の展示ブース部門は中止）
- 部会内研修
  - 内容：国際部会員による多様な内容による自己研修を行い資質の向上と親睦を図る

平和・世界遺産部会

- 平和推進事業
  - (1) 「みんなで平和の鐘を鳴らそう」（第21回）
    - 日時：2021年8月15日（日）10：00～11：00
    - 場所：広島平和記念公園「平和の鐘」鐘楼前（広島市中区中島町）
    - 内容：平和メッセージのスピーチ、合唱、黙とう、平和の鐘の打鐘
    - 荒天（台風）等の場合、開催を延期（1週間内後を予定）
  - (2) 杉並ユネスコ協会青年部のヒロシマ平和学習受入れ事業（第22回）

日時：2022年3月下旬  
 場所：広島平和記念資料館、広島平和記念公園  
 内容：広島平和記念資料館見学、広島平和学習会（被爆体験講話、質疑応答）、ヒロシマピースボランティアにより平和記念公園内の碑巡り  
 参加者：杉並ユネスコ協会青年部、被爆者、会員

- 世界遺産関連事業
  - 原爆ドーム絵はがきを、ヒロシマ平和学習等をするため広島を訪問する団体に贈呈する

広 報 部 会

- 機関紙の発行
  - 本年度は110号（7月）、111号（11月）、112号（3月）の3回を予定。【SDGs】、【広島ユネスコ協会発足から50年へ】思い出の写真・活動 ― などの企画に力を入れる
- ホームページの充実

事 務 局

- 組織の活性化
- 年間行事の調整と専門部会などとの連絡調整（他団体との関係も考慮しながら）
- 事務処理の円滑化を図る（無駄な時間、経費の浪費をしないようにするために）
- 全体的な事業の見直し・推進
- Web会議による各種会議の開催
- 広島ユ協発足50周年となる2023年6月に向けて、実行委員会を立ち上げ、具体的な内容の検討を行う

2021・2022年度役員

名誉会長	松井 一實（広島市長）		
名誉顧問	平岡 敬 秋葉 忠利		
顧問	伊東 亮三 北川 建次	亀井 章	
参 与	中山 修一		
	藤井 正一 井尾 義信	世木田寛子	
	山本 隆信 柴田 幸子		
理 事			
会 長	松岡 盛人		
副 会 長	古田 碩永（総務・広報部会担当）		
	松原 博子（組織・青少年育成部会担当）		
	畑口 實（平和・世界遺産部会担当）		
	藤井 孝行（文化・国際部会担当）		
	湯浅 克廣（教育部会担当）		

<組織部会>	◎井上 哲一	○児玉 賢司	中道 紘二
	堀 敬輔	熊谷 直行	
<青少年育成部会>	◎横佩 智恵	○渡邊 優子	木原 亮
	小川 順子	上久保昭二	坂口 英司
<教育部会>	◎坂本美智子	○湯浅 清治	河原 富夫
	足立 柳子	伊藤 隆宜	岡本 洋子
<文化部会>	◎高田 幸子	○川迫 輝嗣	大村 直生
	木松 裕美		
<国際部会>	◎政木恵美子	○山本 朝世	平井 勇
	田川 清		
<平和・世界遺産部会>	◎内田 一士	○岩田 公正	前田ひろみ
	末重 文男	中本 信子	
<広報部会>	◎藤川 和康	○岡平 裕次	清水 昌法
<事務局>	森木 学（事務局長）		（兼）平井 勇（会計担当）
<監事>	國田 繁	梅本 昌子	

◎：部会長 ○：副部会長



## 「新日本ガラパゴス研究会自然観察会と エコツーリズムそしてSDGs」

新日本ガラパゴス研究会  
副会長 政 木 恵美子  
(広島ユネスコ協会理事・国際部会長)

最近、SDGsへの取組をTVや新聞等で見聞きする機会が大変増えました。そもそもSDGsは世界の貧困の削減および持続可能な開発の促進に向け設定されました。そして17の目標が設定されていますが、目標を達成する手段として観光促進にも取り組んでいます。「国連は、2017年を『開発のための持続可能な観光の国際年』と定め、観光の役割に対する認識を広めていきます。開発途上国の経済成長を支える観光は、貧困撲滅や雇用創出につながります。また、旅先での異文化交流は相互理解を深め、無知や差別といった障壁をなくし、多様性と平和をもたらします。さらに、自然との触れ合いを通じて、資源の有効活用や気候変動などの環境に対する問題意識を高め、地球規模の課題について考える機会を得ることもできます」(引用：国際連合広報センター)と訴えています。

このことは、SDGsと私たちの研究会の活動とがどのように関わっているのかを考えるよい機会となりました。これまでにエコツーリズムの先進国であるガラパゴスやコスタリカの自然観察にも出かけ、生物多様性の大切さとともに自然保護・保全と観光産業の両立のための様々な取組を学びました。

1960年代には先進国の資源開発による環境汚染や途上国での急激な開発による自然破壊が生まれました。日本も東南アジアの国々で合板の材料となるラワン材等の大規模な伐採を行い、熱帯林を破壊したことは記憶に新しいです。また、その一方で優れた自然の保護や保全の在り方として、地域資源をいかに持続的に利用し保護管理していくかの模索の中で、自然保護と経済手段としての観光産業を両立させる取組としてエコツーリズムの概念が確立されま

した。エコツーリズムの先進国であるガラパゴスでは、1975年に自然保護のための管理計画が具体的に施策され、1984年に制定された基本計画が基礎になっています。同じく先進国であるコスタリカでは1870年代のコーヒープランテーション等の拡大により森林が破壊され、1970年代に自然資源の保護と観光業を融合した政策がとられるようになりました。国内では、小笠原諸島、南・北大東島、奄美諸島等の離島に出かけての自然観察会を行っています。国内でも自然観光資源の適正かつ持続的な利用を図るために独自の取組を行っています。海外や国内におけるエコツーリズムの取組は、地域資源の持続的な利用と地域経済や地域の活性化に大いに役立っており、SDGsの目標達成に貢献していることを肌で感じ、理論的にも学ぶことができました。

さて、私たちの研究会で毎年行っている自然観察会は、どのような意義を持っているのでしょうか。研究会の目的を「地球上における大自然を楽しみ、探索し、研究すること」、「自然保護の理念を涵養し、未来社会に貢献する」と規定しています。私たちが訪れる自然観察会の地域は、貴重な自然が残されている地域で、動植物の観察と貴重な自然の保護・保全に関する取組を学んでいます。私たち自身が自然の美しさや偉大さに気づき、地球環境問題や自然保護に積極的に関わっていきたく願っています。

また、SDGs17の目標の「①貧困をなくそう⑭海の豊かさを守ろう⑮陸の豊かさを守ろう」の項目に関わった活動をしていると考えています。

そして学んだことを本会の会誌「ガラパゴス諸島」に掲載し、また、広島国際フェスタ等での講演会を開催し広報活動を行っています。



<コスタリカ：モンテベルデ国立公園>



<ガラパゴス：サンティアゴ島>



<徳之島：アマミノクロウサギ観察小屋>

## 広島ユネスコ協会発足50年へ

協会参与

藤井 正一

### 「国際交流サロン」のあゆみ

広島ユネスコ協会は、広島ユネスコクラブ（1973年に誕生）を前身に、翌'74年に世界でもユニークな「広島国際平和文化都市」の市民団体、広島の被爆体験を生かした国際理解と友好を推進する団体として、発足（改称）したものです。

'88年、アララギ派の歌人で広島ユ協会長だった河村盛明氏は、地域に貢献する文化事業の一環として「国際交流サロン」の開設を提唱。協会の活動が停滞気味であったところから、会員が定期的に参加できる事業を企画し、活動を盛り上げようということになったわけです。

当時、協会の国際交流担当をされていた深崎敏之常任理事（広島市国際交流課長）が著名な文化人、外務省関係者となつてつながりがあり、高橋昭博常任理事・広報活動担当（広島市平和文化センター事業部長）も、国内の文化人と交流があり、幅広くサロン講師の招聘ができました。会場は主にアンデルセン（広島市中区）で、会費1000円（茶菓子と飲み物）で年数回の講話を聞き、会員の皆様に楽しんでいただきました。私も市の国際交流課の職員の一員として、そばでお手伝いさせていただいた記憶は今も鮮明に残っております。諸先輩のご苦勞は並大抵ではなかったと思います。

## 広島ユネスコ協会発足50年へ 写真と思い出の文をお寄せください

会員の皆さんには、2023年に広島ユ協が発足「50周年」を迎えるに際し、記憶に残る思い出の出来事について、原稿をお寄せいただいております。ご協力をお願い申し上げます。

### HP・ほっとコーナー（原稿募集）

このコーナーは、会員（友人知人を含む）のみなさまの身近なできごとや日ごろの活動を写真で紹介し、会員相互の理解と交流促進を図るコーナーです。ホットな投稿写真を心からお待ちしています。写真を送付される場合は、写真のタイトルと内容が分かるメモを添えてください。

【投稿の宛先】メール yujisan5902@yahoo.co.jp  
郵送は〒732-0029 広島市東区福田三丁目14-8岡平裕次気付 広島ユネスコ協会 HP 編集室。

### <書き損じハガキ集めています>

（社）日本ユネスコ協連盟は、地球のたからものを守る「世界遺産活動」をはじめ、すべての人に教育のチャンスを広げる「世界寺子屋運動」や「一杯のスプーン」「未来遺産」などさまざまなユネスコ活動を展開しています。

'88年1月の「第1回記念サロン」は、著名な備前焼作家・藤原雄先生をお招きして「逆手」の演題で講演していただきました。次いで同じ年、舛添要一東京大学助教授（当時）が「日本と世界、これからどうなる」とのテーマで講演されました。'92年には、映画「原爆の子」の映画鑑賞と主演の乙羽信子さんのお話をうかがいました。

「サロン」とは別企画でしたが、'97年9月、原爆ドーム世界遺産登録記念行事では、平岡敬市長（当時）から「原爆ドーム発、世界へのメッセージ」の講演と、俳優・加藤剛氏の朗読劇「コルチャック先生、その愛と死」を開催し、大きな反響を呼ぶとともに平和と友好の絆をより深める機会となりました。

「国際交流サロン」は10年を経て、'98年に「ユネスコサロン」と改称されました。歴史、科学、教育、文化、平和、国際交流活動などユネスコ活動に関する幅広い領域をテーマに、会員だけでなく市民も気軽に参加できる講演会方式へ発展的に拡大されました。

2001年6月の「ユネスコサロン100回（国際交流サロン含む）記念講演」には、講師にモントリオール五輪選手・曾根幹子さん（広島市立大学講師＝当時）を招き、「生涯学習としてのスポーツ」と題して講演会を開きました。

伝統ある「ユネスコサロン」は、現在まで178回を数えます。草創のあゆみの一端を記録にとどめましたが、これからも末永い継続を心から願っております。

広島ユネスコ協会は、世界寺子屋運動の支援活動として、書き損じハガキを集め、高額切手に交換して日本ユ協連盟まで送っています。

この書き損じハガキは、一枚当たり5円の交換手数料を差し引いたものが募金額となります。

（例：63円ハガキ⇒58円の募金額）

ぜひ広島ユ協事務局まで送ってください。（恐れ入りますが、送料はご負担ください。）

送り先 〒730-0036 広島市中区袋町6番36号  
広島市まちづくり市民交流プラザ  
メールボックス89号気付

### 【新会員】（敬称略）

栗林 克行、坂口 英司

### <会員を募集しています>

ユネスコの精神に賛同し、広島ユネスコ協会の活動に参加したり、支援をしていただける方を募集しています。年会費（個人会員の場合）3,000円。青年（～35歳以下）は2,000円。申込先：森木事務局長090-7132-2284、または広島ユネスコ協会HPから検索。

当協会URL：<https://www.unesco.or.jp/hiroshima/> 入会案内へ。



広島ユネスコ協会